

# 第13章 障害者福祉

## 1 障害者数の推移 (表1、図1)

県内の身体障害者、知的障害者及び精神障害者数は年々増加傾向にあり、平成30年度では、身体障害者が69.1千人、知的障害者が15.0千人、精神障害者が29.1千人となっている。

表1 障害者数の推移

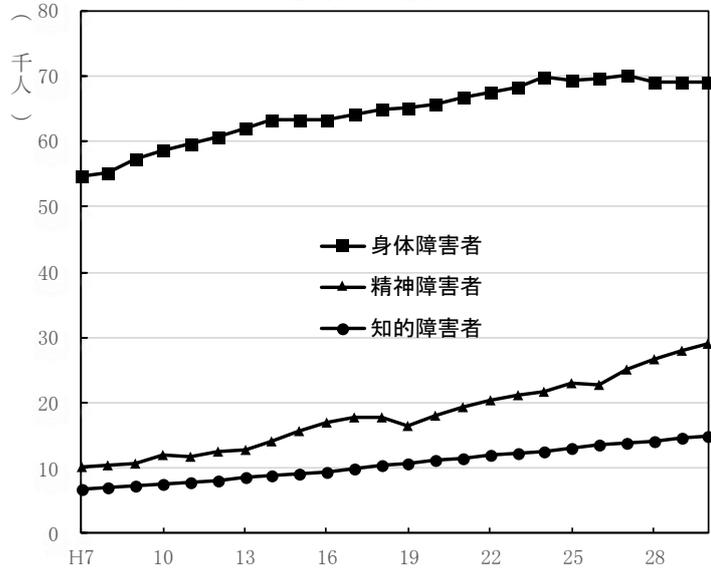
(単位:千人)

年次	身体	知的	精神
平成30	69.1	15.0	29.1
29	69.0	14.5	27.9
28	69.2	14.1	26.6
27	70.1	13.9	25.1
22	67.4	12.0	20.3
17	64.2	9.8	17.8
12	60.8	8.1	12.6
7	54.6	6.7	10.2

【出典】福祉行政報告例他

注) 身体障害者及び知的障害者は手帳交付台帳登録数、精神障害者数は通院者数(自立支援医療による通院医療費交付決定件数)＋入院者数(精神病床数×病床利用率)による推計数である。

図1 障害者数の推移



【出典】福祉行政報告例他

## 2 障害の種別に見た身体障害者手帳交付台帳登録数の推移 (表2、図2)

身体障害者手帳交付台帳登録数の総数は、平成30年度末現在で69,085件となっている。

内訳は、肢体不自由が34,404件(構成比49.8%)で最も多く、次に内部障害が22,956件(同33.2%)で続いている。

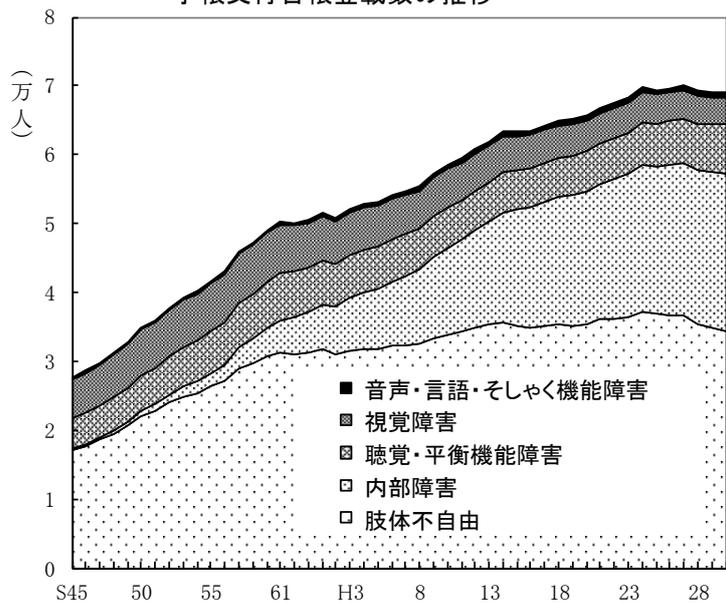
表2 障害の種別に見た身体障害者手帳交付台帳登録数

(平成30年度末現在)

障害の種別	登録数 (割合(%))
肢体不自由	34,404 (49.8)
内部障害	22,956 (33.2)
聴覚・平衡機能障害	7,124 (10.3)
視覚障害	3,874 (5.6)
音声・言語・そしゃく機能障害	727 (1.1)
総数	69,085

【出典】福祉行政報告例

図2 障害の種別に見た身体障害者手帳交付台帳登録数の推移



【出典】福祉行政報告例